

# 平成 28 年度日本素材物性学会研究会 ご案内

研究テーマ：「細胞培養への素材の影響を考える」

日 時：平成 28 年 8 月 3 日（水） 14：00～

場 所：秋田大学総合研究棟（理工学部 6 号館） 2 階講義室

〒010-8502 秋田市手形学園町 1-1 秋田大学理工学部内

主 催：日本素材物性学会

共 催：秋田大学地方創生センター、高分子学会東北支部、東北ポリマー懇話会

参加費：無料（自由にご参加ください）

概 要：細胞培養基材は再生医療を可能にする基盤技術を支える材料として改めて注目されています。細胞の基材への接着性、形状、幹細胞の分化などは基材表面の性質に大きな影響を受けます。温度応答性高分子をコーティングした細胞培養皿は温度を下げるだけで細胞をシート状に取り出すことを可能とし、細胞シート工学という新しい分野を生み出しました。今年度の研究会では、素材（細胞培養基材）の観点から細胞培養を研究している 2 名の先生を県内外からお招きした講演会を企画しました。秋田県立大学の伊藤一志先生は平成 26 年度秋田わか杉科学技術奨励賞を受賞した新進気鋭の研究者です。東京工業大学の柿本雅明先生は分岐高分子研究における第一人者であり、分岐高分子の特性を活かした細胞培養基材を提案されています。細胞培養基材という視点から素材を見つめ直し、新しい材料の開発や機能材料のデザインを改めて考える絶好の機会になるものと思われま

## 記

### プログラム

14:00～14:10 開会挨拶 日本素材物性学会 会長 柴山 敦

14:10～15:00 「培養基質を用いた細胞の形状および機能性制御」  
秋田県立大学システム科学技術学部 助教 伊藤 一志 氏

15:00～15:10 休 憩

15:10～16:00 「ハイパーブランチポリマーを使用した新規細胞培養基材の開発」  
東京工業大学物質理工学院 教授 柿本 雅明 氏

16:00～16:10 まとめ 日本素材物性学会編集委員長 寺境 光俊

### 交 流 会

日時：研究会当日 16:20～17:30  
会場：秋田大学 大学会館 2 階研修室  
会費：1,000 円（当日会場で承ります）

### 連 絡 先

日本素材物性学会事務局 担当：佐藤英之  
電話&FAX：018-889-2439  
E-mail：s\_bussei@gipc.akita-u.ac.jp

※交流会への参加希望者は、上記事務局宛ご連絡ください。当日直接参加も可能です。